

# 施策評価シート

評価実施年度：令和元年度

幹事部局

商工労働部

施策の名称	施策 I - 3 - 1 地域資源を活用した観光地づくりの推進
施策の目的	県内各地域の観光資源を活用した持続可能な観光地づくりを推進します。
施策の現状 に対する評価	<p>(持続可能な観光地づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各地域で、民間団体などが行う観光地づくりに対して、観光総合補助金による支援や、旅行商品造成の取組を実施した。出雲地域に対して、観光入り込み等の規模が小さい石見地域や隠岐地域の観光地づくりの取組支援を重点的に実施した。</li><li>・H30県観光動態調査による宿泊客延べ数は、自然災害などの影響もあり、県全体で▲0.8%と減少した。13府県ふっこう割の取組による巻き返しなどにより出雲地域が+0.2%であったのに対し、石見地域は▲4.5%、隠岐地域は▲3.7%と減少しており、依然として地域間の入り込みに格差が存在している。</li><li>・隠岐地域は、航空機チャーター便、クルーズ船の受入が拡大するなど一定の成果が見られた。また、企画乗船券の販売により、地元での体験メニューの造成につながるなどの成果があった。台風の影響によるフェリーなどの運休があったなか、H30は販売期間中（9～10月）の隠岐汽船利用の観光客数が7,004人と前年の6,573人に比べ増加となった。</li><li>・石見地域では、有力な観光素材である石見神楽のブランディングを目的に、東京での上演や、ウェブ・SNSを活用した広報、キャンペーンなどを展開し、認知度の向上を図った。その結果、H30の認知度調査では、H28の6.4%から9.3%に上昇した。</li><li>・今後、これまでの取組を誘客に繋げていくための、より具体的な対策をとる必要がある。</li></ul>
今後の取組み の方向性	<p>(持続可能な観光地づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・魅力ある観光素材のさらなる発掘・磨き上げ、冬季の商品造成の強化などによる年間を通じた安定的な観光誘客に向けた取組を実施していく。</li><li>・石見地域・隠岐地域について、観光誘客に繋げるための各地域独自の観光素材を組み合わせた具体的な誘客プランを構築する。</li><li>・観光客の動向把握・分析などによる効果的な取組を実施していく。</li></ul>

## 施策に関連する指標の一覧

施策の名称	施策 I - 3 - 1 地域資源を活用した観光地づくりの推進
-------	---------------------------------

施策の目的達成に向けて取り組む事務事業において設定している主な成果参考指標

項番	施策の成果参考指標	指標名	平成27年度	平成30年度		令和元年度	単位
			実績値	目標値	実績値	目標値	
1	○	観光入込み客延べ数	33,171.0	33,850.0	31,133.0	34,000.0	千人
2	○	宿泊客延べ数	3,688.0	3,755 (3,740)	3,653.0	3,780 (3,750)	千人
3	○	観光消費額	1,367.0	1,434.9	1,282.0	1,450.0	億円
4	○	観光満足度	57.0	66.7	62.8	70.0	%
5	○	石見神楽定期公演鑑賞者数	1.7	1.9	1.9	2.0	万人
6	○	隠岐入島者数	13.3	13.4	12.4	14.0	万人
7		(一財)くにびきメッセが開催支援したコンベンションの参加者数	41,660.0	50,000.0	64,753.0	50,000.0	人
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

事務事業の一覧

施策の名称	施策 I - 3 - 1 地域資源を活用した観光地づくりの推進
-------	---------------------------------

	事務事業の名称	目的 (誰(何)を対象として、どういう状態を目指すのか)	前年度 事業費 (千円)	今年度 事業費 (千円)	所管課名
1	コンベンション誘致推進事業	県内でコンベンション開催を促進する	50,210	50,000	商工政策課
2	観光施設管理運営事業	快適に施設を利用していただき、満足してもらう	3,619	4,378	観光振興課
3	しまね観光誘客推進事業	個別課題に応じた観光誘客対策を進め、島根県への観光客を促進することで、観光山魚の発展を図る	383,903	196,611	観光振興課
4	観光関係調査・計画事業	観光動態に関する調査を実施し、その結果や観光施策の指針等を示すことにより、計画的かつ効率的な施策・事業の実施を促すとともに、観光振興に向けた意識の醸成を図る。	8,273	9,900	観光振興課
5	特定友人国境離島地域滞在型観光推進事業	特定友人国境離島の地域社会維持を目的とした国交付金を活用した隠岐4町村への補助事業により、滞在型観光を推進する	11,062	30,634	観光振興課
6	地域創生人材育成事業	人材不足が課題となっている宿泊・観光施設への人材確保のため人材育成事業を実施する	43,198	46,800	観光振興課
7	しまね未来投資促進事業	県内観光客の観光消費額を増加左折	5,000	15,000	観光振興課
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					

事務事業評価シート 評価実施年度： 令和元年度

上位の施策	施策 I-3-1 地域資源を活用した観光地づくりの推進
担当課	商工労働部商工政策課

1 事務事業の概要

名称 <b>コンベンション誘致推進事業</b>					
目的	誰(何)を 対象として	産業交流会会館の利用者、コンベンション(会議、展示会、 イベント等)の主催者	事業費 (千円)	前年度実績	今年度計画
	どのような状態 を目指すのか	経済活動の活性化に繋げるため経済効果のあるコンベンション の開催を促進する		50,210	50,000
			うち一般財源	50,210	50,000
今年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンベンション開催支援事業費補助金を活用した、(一財)くにびきメッセを主体とする誘致活動</li> <li>更なるコンベンション誘致を推進するため、関係市町や関係団体で構成する情報交換及び情報共有並びに研修会の実施等を行うための連絡会議の設置</li> </ul>				
前年度に行った 評価を踏まえて 見直したこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンベンション誘致に取り組む関係者との誘致を推進するための意見交換の実施</li> </ul>				

2 成果参考指標等の状況

成果参考指標		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
1	指標名 (一財)くにびきメッセが開催支援したコンベンションの参加者数	目標値		50000.0	50000.0	50000.0	50000.0	人
		(取組目標値)						
	式・ 定義	実績値	41660.0	66473.0	96303.0	64753.0		
		達成率	-	133.0	192.7	129.6	-	%
2	指標名	目標値						
		(取組目標値)						
	式・ 定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%
<p>「成果参考指標」の他に参考とすべきデータや客観的事実など</p> <p>大規模な会場や宿泊施設が少なく交通インフラが不便であり、また、コンベンションの開催に有利な他県との競争もあるなど、県内における誘致環境は厳しい状況にある。そんな中、くにびきメッセによる長期間継続した戦略的な誘致活動だけでなく、開催経費を軽減する助成制度が開催を決定するうえで大きなインセンティブとなっている。このため、参加者数については、平成29年度並の大規模イベント(参加者数：29,000人)の開催がなく概ねH28年度並に減少したものの、当初予算額を超過する程の利用があるなど誘致に大いに貢献した。</p> <p>(県全体での開催件数) (県西部・隠岐地域での開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度：171件</li> <li>平成29年度：172件</li> <li>平成30年度：163件</li> <li>平成28年度：15件、参加者数 12,038人</li> <li>平成29年度：10件、参加者数 13,424人(うち、大規模イベント7,000人)</li> <li>平成30年度：12件、参加者数 12,318人</li> </ul>								

3 「取組内容」に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組みによる改善状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>他県との競争により島根県内におけるコンベンションの誘致環境は厳しい状況にあるなか、H29年度よりコンベンションの支援要件を緩和したことなどから、特殊事情分を除き、概ね昨年度と同数の開催件数を維持した。</li> </ul>
課題分析	① 「目的」の達成のため(又は達成した状態を維持するため)に支障となっている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>島根県は、他県と比べ大規模な会場及び宿泊施設が不足しており、また、国際空港を始めとした県外からの交通アクセスが不便であることなどからコンベンション(会議、展示会、イベント等)の開催場所としては選定しづらい。県西部・隠岐地域は、この状況が顕著であることから特に選定しづらい状況である。</li> </ul>
	② 上記①(課題)が発生している原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際空港を始めとした県外からの交通アクセスが不便であり、移動に要する経費も掛かることから敬遠されるため。</li> <li>コンベンションの実施に伴う補助金制度やコンベンションビューロー等による会場の紹介等を行う各種開催支援等、島根県内でのコンベンション開催を促すための情報発信が不足しており、また、コンベンションの開催情報を収集する仕組みが確立されていないため。</li> </ul>
	③ 上記②(原因)の解決・改善に向けた見直し等の方向性	<p>誘致の際にインセンティブ効果を発揮する各種開催支援策を活用するほか、支援策の情報発信や開催情報を収集する仕組みを構築することにより、潜在的なニーズの掘り起こしを行う必要がある。</p> <p>このため、コンベンション開催件数増加に向けて、開催に係る情報収集と有効なインセンティブ効果を発揮する開催支援策の情報発信を行う仕組みを、県庁内及びくにびきメッセ、観光連盟、山陰DMO、市町等で構成するしまねMICE誘致推進連絡会議を設置した。本会議において、誘致活動の取り組みやノウハウの深化を図るなど潜在的なニーズの掘り起こしのための取り組みを行い、コンベンション誘致を推進する。</p>

事務事業評価シート 評価実施年度： 令和元年度

上位の施策 施策Ⅰ-3-1 地域資源を活用した観光地づくりの推進

1 事務事業の概要

担当課 商工労働部 観光振興課

名称		県立観光施設管理運営事業			
目的	誰(何)を対象として	施設利用者	事業費 (千円)	前年度実績	今年度計画
	どういう状態を目指すのか	快適に施設を利用していただき、満足してもらう。		3,619	4,378
			うち一般財源	3,619	4,283
今年度の取組内容	宍道湖の眺望施設、休憩施設として、安全に利用頂けるよう施設内の設備や植栽等の維持、管理を適切に行う。 ・自動販売機(2台)の設置 ・廃棄物の処理 ・施設内の植栽の剪定、除草作業、安全点検等の実施 (剪定作業1回/年、芝生管理作業4回/年、草刈り・除草作業2回/年、安全点検12回/年) ・故障や不具合のある箇所等の修繕				
前年度に行った評価を踏まえて見直したこと	・利用客の利便性、安全性は確保している。 ・将来的な有効利用の方法については検討中。				

2 成果参考指標等の状況

成果参考指標		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	
1	指標名	施設利用者数	目標値		192.0	195.5	199.0	202.5	千人
			(取組目標値)						
	式・定義	総水道使用量/1人当たり水道使用推定量	実績値	188.3	206.4	235.0	235.0		
			達成率	-	107.6	120.3	118.2	-	%
2	指標名		目標値						
			(取組目標値)						
	式・定義		実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%
「成果参考指標」の他に参考とすべきデータや客観的事実など									

3 「取組内容」に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組みによる改善状況	・継続して公園利用者による施設の利用がある。
課題分析	① 「目的」の達成のため(又は達成した状態を維持するため)に支障となっている点	・施設の老朽化が進み、路面、トイレや街灯、浄化槽等、随所が故障の発生しやすい状況になっている。 ・施設の有効利用が図られていない。
	② 上記①(課題)が発生している原因	・限られた管理費の中で、利用継続可能な範囲での最小限の修繕等しか行っていない。 ・施設の有効利用策がない。
	③ 上記②(原因)の解決・改善に向けた見直し等の方向性	・利用者の利便性と安全性は最低限確保しつつ、売却も含め将来的な有効利用が図られる方向性を検討する。

事務事業評価シート 評価実施年度： 令和元年度

上位の施策	施策 I-3-1 地域資源を活用した観光地づくりの推進
担当課	商工労働部観光振興課

1 事務事業の概要

名称	しまね観光誘客推進事業				
目的	誰(何)を対象として	さまざまな観光ニーズを持つ人々	事業費 (千円)	前年度実績	今年度計画
	どういった状態を目指すのか	個別課題に応じた観光誘客対策を進め、石見地域や隠岐地域、閑散期の来訪を促進し、県全体の観光客の増加を図る。		うち一般財源	383,903
今年度の取組内容	【県内地域支援対策】地域の観光素材を活用した着地型旅行商品の造成、周遊対策、情報発信を行う。(隠岐・石見) また、オリンピック・パラリンピック関連イベントへの参加などにより、石見神楽のブランディングを行う。 (石見) 【閑散期の誘客対策】出雲、石見、隠岐圏域ごとの冬季観光誘客の取組を支援する。 【広域連携による誘客対策】広域的な観光推進団体への支援や、他県と連携した取組を実施する。 【高速道路を活用した誘客対策】NEXCOや道の駅等との連携による情報発信を行う。 【交通機関と連携した誘客対策】観光列車等を活用し、誘客を推進する。				
前年度に行った評価を踏まえて見直したこと	観光誘客における個別課題に対応する施策について、他県等との広域連携による事業と併せて見直しを行った。 【交通機関と連携した誘客対策】 「あめつち」等新たな魅力ある素材を活かした旅行商品を造成するなど、閑散期対策を充実させた。				

2 成果参考指標等の状況

成果参考指標		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	
1	指標名	観光入り込み客延べ数	目標値	33370.0	33530.0	33690.0	33850.0	34000.0	千人
	式・定義	毎年の観光動態調査結果	(取組目標値)						
			実績値	33171.0	33119.0	32303.0	31133.0		
			達成率	99.5	98.8	95.9	92.0	-	
2	指標名		目標値						
	式・定義		(取組目標値)						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	
「成果参考指標」の他に参考とすべきデータや客観的事実など									
【県内地域支援対策】 石見地域観光入込客数 (H27: 6,505千人→H28: 6,365千人→H29: 6,065千人→H30: 5,596千人) 隠岐地域観光入込客数 (H27: 220千人→H28: 217千人→H29: 186千人→H30: 168千人) 【閑散期誘客対策】 観光入込客数 7~9月平均 2,957千人、12~2月平均 2,092千人 (H30)									

3 「取組内容」に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組みによる改善状況	【県内地域支援対策】 ・チャーター便、クルーズ船の受入が拡大した。(隠岐) ・隠岐4島の現状について調査・分析し、今後の観光振興方策について検討した。(隠岐) 【閑散期誘客対策】 ・エージェントへのインセンティブ付与による誘客(全県)、温泉・食・スキーをテーマにした誘客キャンペーン(石見)、地元食材を活用したおもてなしイベント(隠岐)を実施し、一定程度の冬季の誘客の下支えとなった。
課題分析	① 「目的」の達成のため(又は達成した状態を維持するため)に支障となっている点	【県内地域支援対策】 【閑散期誘客対策】 ・個々の観光施設が小規模で点在しており、周遊コースが確立されていない。また、知名度が低い。 ・夏季以外の観光客数の落ち込みが激しい。体験型メニューが少なく、消費額の増加や滞在時間の延長につながっていない(隠岐)
	② 上記①(課題)が発生している原因	【県内地域支援対策】 【閑散期誘客対策】 ・ニーズの多様化・トレンドの変化に対応できておらず、地域資源を活かした魅力的な着地型観光商品づくりができていない。 ・観光需要の季節変動が大きく、観光事業者の経営が安定しないため、受入体制が弱体化している。(隠岐)
	③ 上記②(原因)の解決・改善に向けた見直し等の方向性	【県内地域支援対策】 【閑散期誘客対策】 ・地域と共に、今後の観光振興方策に基づいた取組(春秋対策による観光需要の平準化、受入体制の強化、魅力の向上)を進める。(隠岐) ・未だ十分に集客効果を発揮していない観光素材(石見神楽等)を活用した旅行商品造成や情報発信に取り組む(石見)

事務事業評価シート 評価実施年度： 令和元年度

上位の施策	施策 I-3-1 地域資源を活用した観光地づくりの推進
-------	--------------------------------

1 事務事業の概要

担当課	商工労働部 観光振興課
-----	-------------

名称	観光関係調査・計画事業				
目的	誰(何)を対象として	県・市町村・観光関連事業者	事業費 (千円)	前年度実績	今年度計画
	どういう状態を目指すのか	観光動態に関する調査結果等を示すことにより、計画的かつ効率的な施策・事業の実施を促すとともに、観光振興に向けた意識の醸成を図る。		8,273	9,900
			うち一般財源	8,273	9,900
今年度の取組内容	観光事業者等の営業戦略の立案や、市町村及び県の事業・施策を計画的にかつ効率的に実施できるよう、観光入込客数等を把握するとともに、観光客にアンケート調査を行い、観光動向や観光消費額等を把握・分析し、情報提供する。また、県内の主要観光施設等の月別の観光客入込動向を把握し、情報提供する。				
前年度に行った評価を踏まえて見直したこと	引き続き観光入り込み客延べ数を各市町村から把握するとともに、観光客へのアンケート調査等により観光客の動向を分析する。				

2 成果参考指標等の状況

成果参考指標		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	
1	指標名	期限内提出率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
			(取組目標値)						
	式・定義	期限内提出数/市町村調査提出数	実績値	95.5	98.8	100.0	100.0		
			達成率	-	98.8	100.0	100.0	-	
2	指標名	期限内公表回数	目標値		12.0	12.0	12.0	12.0	月
			(取組目標値)						
	式・定義	月別調査の翌月末までの公表回数	実績値	12.0	12.0	12.0	12.0		
			達成率	-	100.0	100.0	100.0	-	
「成果参考指標」の他に参考とすべきデータや客観的事実など									

3 「取組内容」に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組みによる改善状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光動向把握を可能とし、民間事業者等の営業戦略等の立案や市町村及び県の観光振興施策立案、道路整備計画の立案等に役立っている。</li> <li>県の各種KPIとして利用されている。</li> <li>宿泊施設における利用目的（観光、ビジネス割合）を把握。</li> <li>インパウンドの宿泊延べ数を把握。</li> </ul>
課題分析	① 「目的」の達成のため（又は達成した状態を維持するため）に支障となっている点	観光客数増減の具体的な要因や課題分析、島根県へ訪れる観光客の詳細な傾向、外国人入込客数、外国人の入県経路、観光産業の状況などが十分でない。
	② 上記①（課題）が発生している原因	調査方法構築、データ分析のために多大な手間と費用がかかる。
	③ 上記②（原因）の解決・改善に向けた見直し等の方向性	引き続き各市町村へ依頼している観光入込客数等の把握、観光客へのアンケート調査等による観光客の動向の把握・分析について、調査の信頼性・正確性・迅速性を高める。 今後必要な観光統計のあり方を検討の上、必要に応じて、新たなデータの取得および分析を検討、実施する。

事務事業評価シート 評価実施年度： 令和元年度

上位の施策	施策 I-3-1 地域資源を活用した観光地づくりの推進
-------	--------------------------------

1 事務事業の概要

担当課	商工労働部観光振興課
-----	------------

名称	特定有人国境離島地域滞在型観光推進事業				
目的	誰(何)を対象として	さまざまな観光ニーズを持つ人々(国境離島地域に興味を持つ人々)	事業費 (千円)	前年度実績	今年度計画
	どういう状態を目指すのか	滞在プランの開発等を行うことにより、隠岐に旅行に来てもらう。 「もう1泊したい」と思ってもらう。		11,062	30,634
今年度の取組内容	隠岐地域での滞在型旅行商品の開発や人材の確保・育成の取組を支援 ・ 隠岐の魅力を高め滞在期間を延ばすための新たな体験メニューの作成：企画乗船券の作成・販売。隠岐4町村の滞在プログラム開発支援 ・ 外国人旅行者等の誘致に向けた受入環境の整備等：外国人観光客向けの専門ガイド養成				
前年度に行った評価を踏まえて見直したこと	・ 企画乗船券の販売・利用期間及び販売枚数を拡大し、超高速船(往路)利用を組み合わせた。				

2 成果参考指標等の状況

成果参考指標		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
1	指標名	宿泊客延べ数	目標値		111.0	114.0	117.0	千人泊
	式・定義	一日単位でみた宿泊客の人数。1人が2泊3泊する場合は2人泊と数える	(取組目標値)					
			実績値	119.9	109.7	104.2	102.0	
			達成率	-	-	93.9	89.5	%
2	指標名	推定入島客数	目標値		129.0	134.0	140.0	千人
	式・定義	来島者から島民利用を除いた実人数	(取組目標値)					
			実績値	132.9	122.9	125.3	123.7	
			達成率	-	-	97.2	92.4	%

「成果参考指標」の他に参考とすべきデータや客観的事実など

- 観光客入込数が減少傾向  
観光客入込数：27年220千人、28年217千人、29年186千人、30年168千人(島根県観光動態調査)
- 観光の形態が団体から個人へシフト
- 宿泊施設の減少(H16年98施設→H28年60施設)

3 「取組内容」に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組みによる改善状況	・ H30年度のフェリー乗船券と体験利用券をセットにした企画乗船券の実施(921枚販売)により、企画乗船券利用期間中の観光客数が前年度比増(H29年度は企画乗船券未実施) …販売期間中(9/1~10/31の2ヶ月間)の隠岐汽船利用の観光客数 H29：6,573人⇒H30：7,004人
課題分析	① 「目的」の達成のため(又は達成した状態を維持するため)に支障となっている点	①本土に比べ夏季以外の観光客数の落ち込みが激しい。 ②観光地を見て回る通過型の観光が主流で、島の魅力を生かした体験型観光メニューが少なく、消費額の増加や滞在時間の延長につながらない。また、荒天時に観光客の満足度が低い。 ③外国人旅行者や個人客を呼び込むための受入体制整備が進んでいない。
	② 上記①(課題)が発生している原因	①夏季に比べ他の時期に誘客につながる観光コンテンツが弱い。 ②観光客のニーズに合った体験型観光メニューを提供できていない。また、利用促進を十分に図れていない。 ③受入体制整備を進めるための、専門人材の不足、受入窓口(オンラインシステム)や広報の情報不足。
	③ 上記②(原因)の解決・改善に向けた見直し等の方向性	①春・秋の観光客数の底上げとなるよう、企画乗船券に付随する体験メニューのPRと掘り起こし、充実に取り組み。 ②ターゲットを明確化し、体験メニューのブラッシュアップおよび新たな観光素材の企画開発を促す。また、荒天時にも利用できる体験メニューに誘導し、消費拡大や滞在時間の延長を図る。 ③外国人観光客の誘致につながるよう、多言語の音声アプリの活用、専門ガイド養成などにより、受入環境を改善する。また、個人客を含めた来島客層の拡大のため、オンラインでの予約・手配システムの運用推進、WEBサイトやSNSを活用した情報発信によりPRを強化する。

事務事業評価シート 評価実施年度： 令和元年度

上位の施策	施策 I-3-1 地域資源を活用した観光地づくりの推進
担当課	観光振興課

1 事務事業の概要

名称		地域創生人材育成事業				
目的	誰(何)を対象として	求職者、Uターン希望者、観光事業者		事業費 (千円)	前年度実績	今年度計画
	どういう状態を目指すのか	研修への参加者を募り、観光産業への就職者を確保することで、観光産業における人手不足の解消を図る。			43,198	46,800
				うち一般財源	0	0
今年度の取組内容	県内宿泊・観光施設への就職を希望する離職者やUターン者等を対象にして観光産業に必要な研修を実施する。研修終了後は就職に繋げることで観光産業における人手不足の解消に繋げる。 ・地域人材育成協議会を設置し、研修受講者の募集や人材育成の実施を調整・支援 ・人材派遣会社等による人材育成研修の実施 ・受講者と宿泊・観光施設等のマッチング					
前年度に行った評価を踏まえて見直したこと	・石見、隠岐地域での就職者を確保するため、実地研修を主体とした研修を実施 ・受講者募集において、就職先、就業条件等を提示し、受講者選定を行うことで、受講者の就職率を向上 ・継続的な取組方法について方向性を決定					

2 成果参考指標等の状況

成果参考指標		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
1	指標名	人材育成事業受講者数			25.0	25.0	25.0	人
	式・定義	人材育成事業を受講する受講生の人数			25.0	25.0	25.0	
		達成率	—	—	100.0	100.0	100.0	
2	指標名	宿泊・観光施設への新規就職者数			20.0	20.0	20.0	人
	式・定義	人材育成事業受講生中、新規就職した人数			17.0	20.0		
		達成率	—	—	85.0	100.0	—	

「成果参考指標」の他に参考とすべきデータや客観的事実など

県内宿泊施設・観光施設においては、引き続き人手不足の状況が続いている。  
 ・島根県の有効求人倍率(接客・給仕) H31.4:5.32倍  
 ・H30宿泊・観光施設雇用状況調査 従業員不足と回答した企業:51%

3 「取組内容」に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組みによる改善状況	※目的の対象に対して具体的にもたらされた成果 ・研修受講者数 25名(内、2名は途中リタイア) ・研修終了者の就職・起業 20名(就職率H29:68%⇒H30:80%) ・隠岐地域への就職者を6名、石見地域への就職者を1名確保
課題分析	① 「目的」の達成のため(又は達成した状態を維持するため)に支障となっている点	・求人倍率が高い状況が続き、観光産業における人手不足の状況は変わっておらず、継続的な取組が必要 ・石見地域への就職者が確保できていない(H30年:1名)。
	② 上記①(課題)が発生している原因	・国事業が今年度で終了 ・座学研修を松江市で開催しているため、石見地域に居住したままでの参加が困難
	③ 上記②(原因)の解決・改善に向けた見直し等の方向性	・次年度以降の継続的取組について検討し、継続方法を確定する。 ・石見地域、隠岐地域で実施可能な研修方法を検討、確立する。

事務事業評価シート 評価実施年度： 令和元年度

上位の施策	施策 I-3-1 地域資源を活用した観光地づくりの推進
担当課	観光振興課

1 事務事業の概要

名称	しまね地域未来投資促進事業				
目的	誰(何)を対象として	観光事業者等	事業費 (千円)	前年度実績	今年度計画
	どういふ状態を目指すのか	観光事業者の付加価値額増に繋がる取組を支援し、地域経済を牽引する事業者を増加する。		5,000	15,000
			うち一般財源	5,000	15,000
今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光産業に関わる企業への地域経済牽引事業計画の策定を促し、計画に係る取組を支援する。</li> </ul>				
前年度に行った評価を踏まえて見直したこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客への新たなサービスの創出等を検討する事業者へ、地域経済牽引事業計画の策定を働きかけた。</li> </ul>				

2 成果参考指標等の状況

成果参考指標		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
1	指標名	地域経済牽引事業による売上額増加率(累計)	目標値			1.0	2.0	%
			(取組目標値)					
	式・定義	認定企業の売上額増加率	実績値					
			達成率	—	—	—	—	%
2	指標名	地域経済牽引事業による付加価値額増加率(累計)	目標値			3.0	6.0	人
			(取組目標値)					
	式・定義	認定企業の付加価値額増加率	実績値					
			達成率	—	—	—	—	%
<p>「成果参考指標」の他に参考とすべきデータや客観的事実など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光産業は、5年間で県内観光消費額が6.6%増加(H24 1,266億円⇒H29 1,349億円)、県内付加価値額が4.3%増加(H24 624億円⇒H29 651億円)するなど成長が見込まれる分野であり、その波及効果もH29で989億円と県内総生産額のおよそ4%を占めるなど影響力が大きい。</li> </ul>								

3 「取組内容」に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組みによる改善状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>H30年度は、1社が地域経済牽引事業計画を策定し、事業を実施した。</li> <li>H31年度は、3社が計画策定予定</li> </ul>
課題分析	① 「目的」の達成のため(又は達成した状態を維持するため)に支障となっている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画認定のハードルが高い(付加価値額3,029万円増加)。</li> </ul>
	② 上記①(課題)が発生している原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>国が定めた基準が原因となっている。</li> </ul>
	③ 上記②(原因)の解決・改善に向けた見直し等の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光事業者へ引き続き地域経済牽引事業計画の策定を働きかけるとともに、補助事業の実施により、計画策定、事業実施を促す。</li> </ul>